

# 令和元年度 決算 についてお知らせします

財政課 ☎ 65-1220 ㊚ 65-1216

## 決算って？

4月1日から翌年3月31日までの1年間に、どのような収入があり、どのように使ったか（支出）を明らかにするものです。

令和元年度一般会計決算は、歳入決算額 539 億

9,000 万円、歳出決算額 528 億 8,000 万円となり、前年度と比較すると、歳入が 64 億 2,000 万円の増額、歳出が 69 億 2,000 万円の増額となっています。

## 形式収支は？

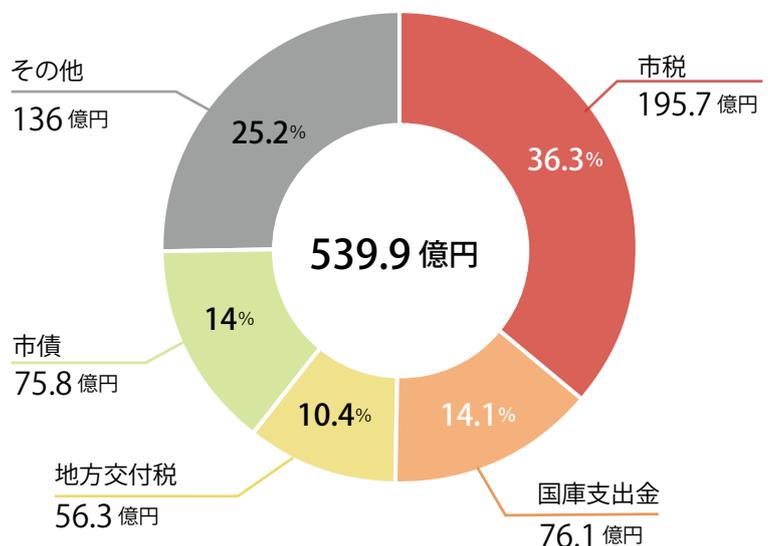
形式収支とは、一般会計の収入から支出を差し引いた金額のことです。  
令和元年度は 11 億 1,000 万円の黒字となりました。

収入 539.9 億円 - 支出 528.8 億円



**11.1 億円の黒字**

## 収入 収支の内訳



## 実質収支は？

実質収支とは、形式収支から翌年度への繰越財源（翌年度に繰り越す事業の実施に必要な財源）を差し引いた金額のことです。

通常、地方公共団体が黒字か赤字かは、この実質収支で判断します。

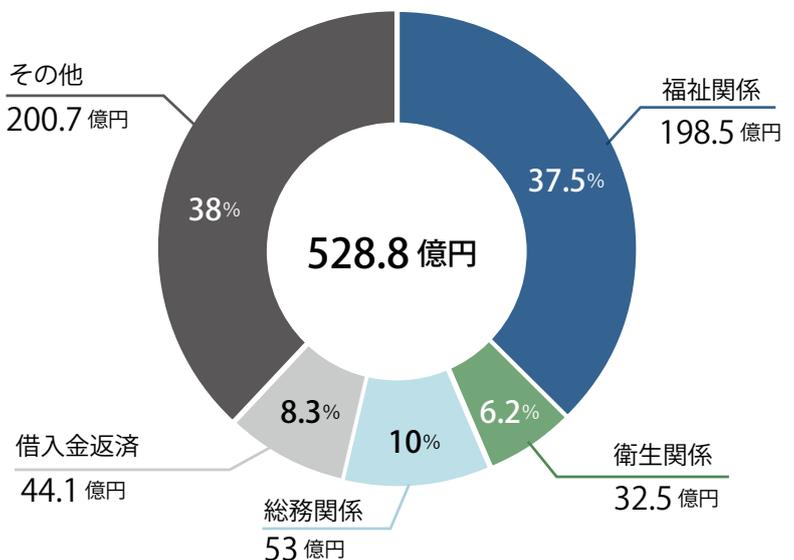
令和元年度は 9 億 1,000 万円の黒字となりました。

形式収支 11.1 億円 - 繰越財源 2 億円



**9.1 億円の黒字**

## 支出

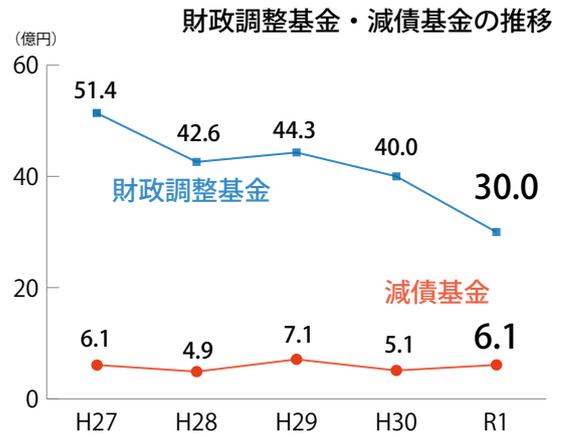


## 積立金（基金）の状況

基金は皆さんの家計で言うと、「貯金」に当たります。

そのうち、使い道が自由な財政調整基金の現在高は、平成 30 年度と比較して減少し、30 億円となりました。

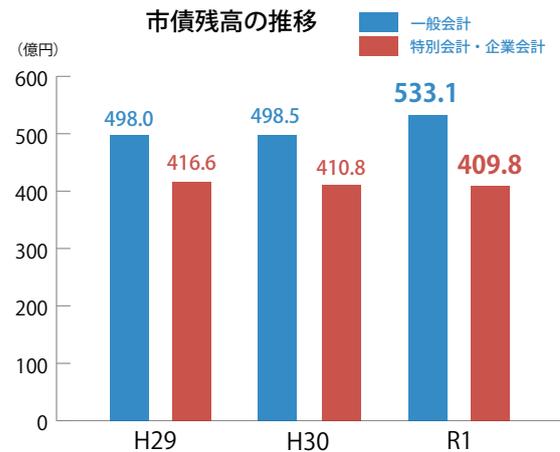
また借入金返済のために積み立てる減債基金の現在高は、平成 30 年度と比較して増加し、6 億 1,000 万円となりました。



## 借入金（市債）の状況

将来にわたって使われる学校や道路などの公共施設を整備する場合に、市が国などから借り入れる資金のことを市債と言います。

一般会計と特別会計、企業会計を合わせた市債残高は、平成 30 年度と比較して増加し、942 億 9,000 万円となりました。



令和元年度は  
600 を超える事業  
を実施しました。  
その中で主な事業  
を紹介します。



新居浜太鼓祭り首都圏 PR 推進事業費 3,975 万円  
新居浜市のブランドイメージ向上を図るため、ふるさと祭り東京 2020 へ太鼓台の派遣、にぎわい市への物産ブース出展を行いました。



小中学校 ICT 環境整備推進事業費 4,638 万円  
小中学校に電子黒板など教育用 ICT 機器の整備および統合型校務支援システムを整備しました。



総合防災拠点施設建設事業 43 億 1,997 万円  
災害対策本部機能および消防本部機能などを有する消防防災合同庁舎が完成しました。



都市公園整備事業 3,874 万円  
平成 29 年度から整備を進めていた渦井なかよし公園の供用を開始しました。



小中学校空調整備事業 14 億 8,701 万円  
小学校の普通教室および特別教室に空調機器を設置しました。